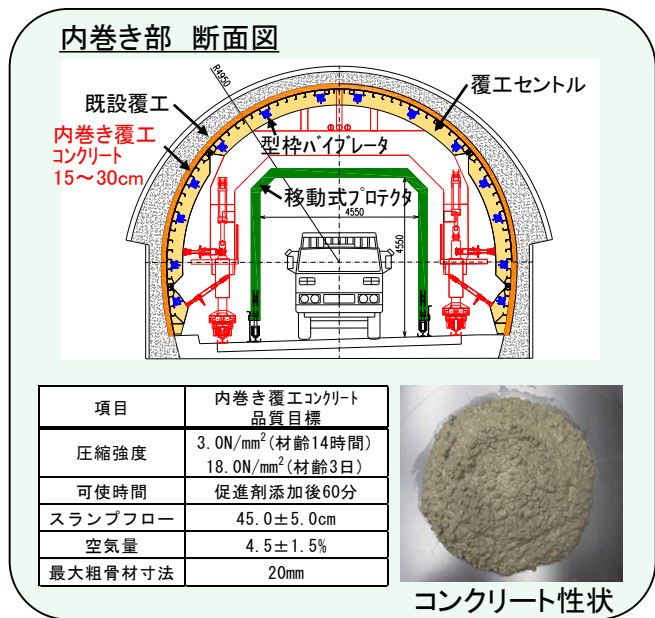
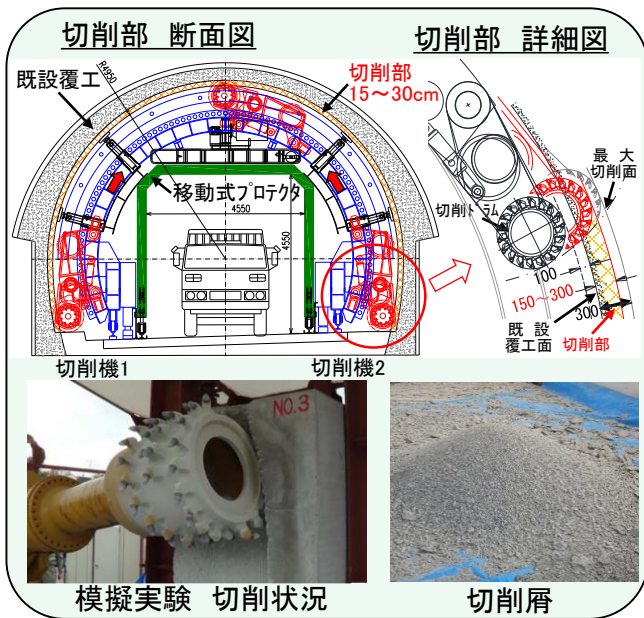
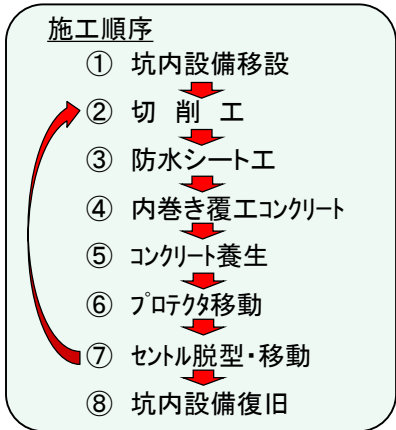
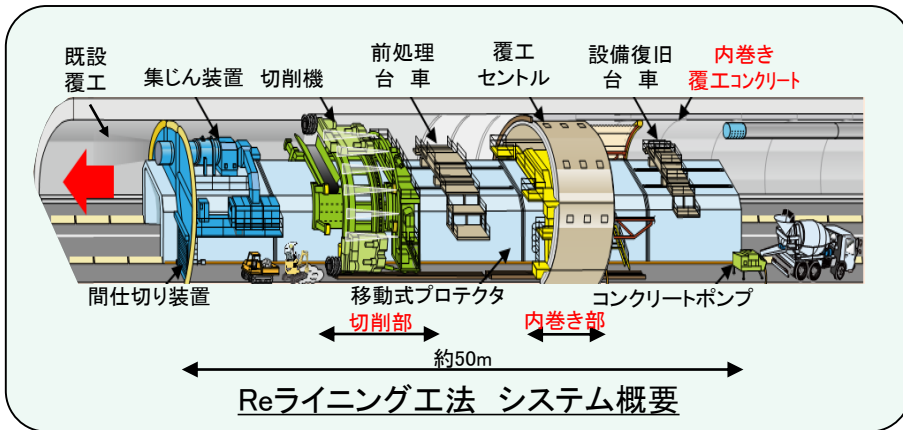


トンネルを供用しながら覆工コンクリートをリニューアル Reライニング工法

技術概要

『Reライニング工法』は、トンネルを供用しながら老朽化した覆工コンクリートを、内空断面を縮小せずにリニューアルする技術です。移動式プロテクタの内側に一般車を通行させながら、上部で切削機を使用して既設覆工コンクリートを15～30cmの厚さで切除去した後、切削した部分に覆工セメントを使用して内巻き覆工コンクリートを構築します。これにより、大規模なトンネル覆工コンクリートの打替えや補強を安全かつ高速に行えます。



Reライニング工法の特徴

- ① **活線下で覆工コンクリートの改築**
 - ・移動式プロテクタを使用することで、一般車を通行させながら覆工を改築できる
- ② **内空断面を縮小せずに覆工コンクリートの改築が可能**
 - ・既設覆工コンクリートを切削・内巻きすることで、内空断面を縮小せず建築限界を確保できる
- ③ **防水、導水処理、補強への対応**
 - ・内巻き覆工の施工前に、防水シートや導水工、ロックボルトによる地山補強を行うことが可能
- ④ **覆工コンクリートの緻密性確保と工期短縮**
 - ・早強・中流動コンクリートにより、充填性と早期・長期強度を確保できるため、早期開放が可能
 - ・内巻き覆工は現場打ちコンクリートのほか、プレキャスト製品にも対応できるため、早期開放が可能
- ⑤ **活線下での改築コストの削減**
 - ・移動式プロテクタにより、改築影響範囲を限定的に防護できるため、コスト削減が可能
 - ・各設備は分離して切削やコンクリート打設など単体の業務にも対応できるため、コスト削減が可能

※「Reライニング工法」は、(国研)土木研究所、(株)鴻池組、岐阜工業(株)、(株)流機エンジニアリングの共同開発工法です。

まじめに、まっすぐ
KONOIKE

㈱鴻池組 技術本部 土木技術部
大阪 TEL 06-6245-6580
東京 TEL 03-5201-7910
<https://www.konoike.co.jp/request/index.php>